

これからの流れ

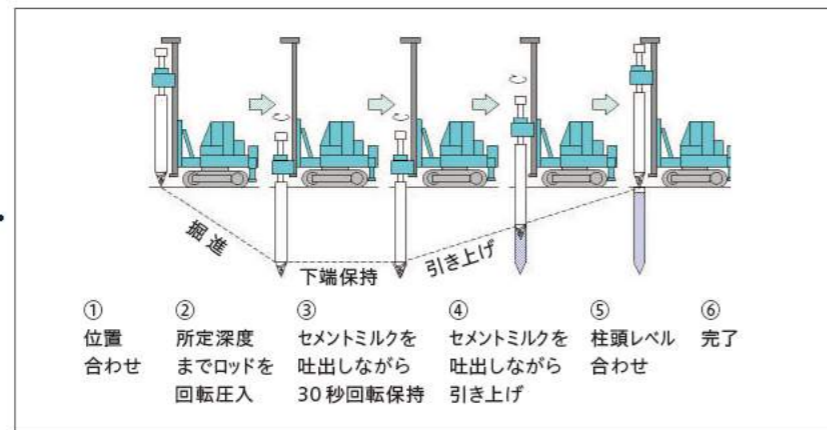
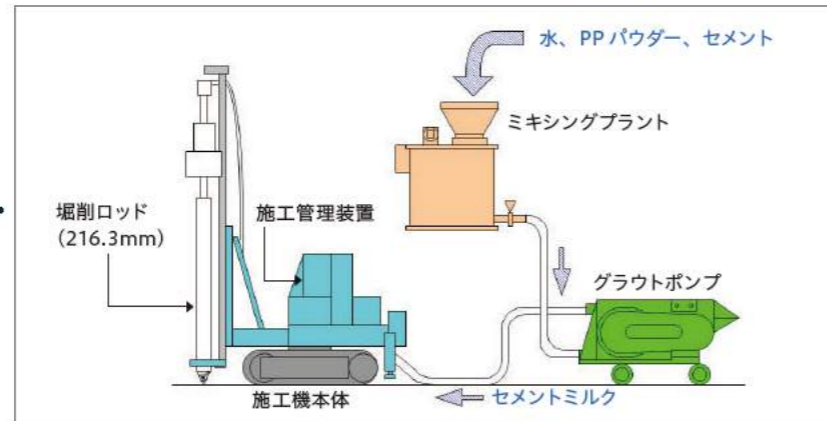
① 工事日程の打ち合わせ

② 施工設備の搬入

③ 施工

④ 施工設備の搬出

⑤ 終了



地盤補強工事 に関するご案内

今までにない高強度で低コストの
地盤補強工法のご案内です。

安全・安心の戸建て住宅地盤補強工事



ピュアパイル工法の詳細

ピュアパイル工法の詳しい内容は下記ホームページに掲載されています。

www.purepile.jp



ピュアパイル工法普及振興会

〒130-0026 東京都墨田区両国 2-10-14

TEL: 03-5624-7377 FAX: 03-6856-2936

お問い合わせは

Blank area for contact information.



費用をおさえて、環境にもやさしい。
高い強度の地盤補強で安全と安心をプラス。



地盤補強の必要性やどんな工法があるのかは意外と知られていないもの。
でも、家を建てるうえでは、まさしく土台になることなので、知っておきたいですね。

地盤の補強は必ず必要？

家を建てても、その土地が軟弱地盤だったり埋立地だと、住宅の重さに地盤が負けてしまう可能性があります。そうすると家が傾き、基礎部分や壁に亀裂が入ったり、建具の開閉がしにくくなったり、下水の排水が悪くなるなど生活そのものに悪影響が出ます。また、傾きが大きくなると、平衡器官のバランスが崩れ、めまいや肩こりなど暮らしの健康すらも脅かす可能性があります。一度家が傾くと、復旧するには新築価格と同じくらいの費用がかかるため、住宅建築前に地盤を調査し、調査結果に基づいた対策を講じる必要があります。



地盤補強にはどんな工法がある？

一般的な戸建住宅の地盤補強工法は3つ。

地盤の深度や地下水の水位、土質、施行機械の搬入可否、コストなどに応じて、適切な工法は異なってきます。



当社がお勧めするピュアパイル工法について

ピュアパイル工法は、柱状改良工法を進化させ、深度2m～10mまでの軟弱地盤に対応させた地盤補強工法です。一般的な柱状改良工法では、セメントを土と混合します。ピュアパイル工法はセメントを土と混合しないでそのまま固めるため、高強度で品質のバラつきがありません。また従来の柱状改良工法では対応できない腐植土層(昔の植物が堆積した層)にも対応可能ですので、地盤を選ばず採用できます。

また、土を掘りだすことがないため、残土処分費用が不要のうえ、現場敷地や道路を汚しません。このピュアパイル工法で、安全・安心の暮らしを長く支えていきます。

ピュアパイル工法の特長

Point 1 柱状改良工法より **3倍強い!**

柱状改良工法では土と混ぜるので強度がバラつきます。ピュアパイル工法は、土と混ぜないため、高強度で安定した品質です。

Point 2 工期は **柱状改良工法の約半分!**

ピュアパイル工法は柱状改良工法のように土をかき混ぜないため、施工スピードが速く経済的。また、地盤の土を押し広げる工法ですので、地盤を緩めず、支持力が大きくなります。

Point 3 残土処分は**不要!** 現場や道路を汚しません。

発生残土の多い柱状改良工法と違い、ピュアパイル工法は、ほとんど残土が出ません。残土の搬出処分がないため、現場や道路を汚さず、処分費用も不要。環境にもやさしい工法です。

Point 4 性能が **証明**されています。

ピュアパイル工法は、一般財団法人日本建築総合試験所による建築技術性能証明を取得。工法そのものに対する高い社会的評価を得ています。【GBRC 性能証明第11-28号 改4】